

今回の余市町まちづくり協議会では、新たな総合計画に向け今後の理想のまちづくりについて2つのグループに分かれ討議しました。各グループでは委員それぞれの立場や思想から多くの活発な意見が出されました。要旨については別紙「グループ討議の要旨」を参照していただきたいと考えます。

余市町から提示のあった討議のテーマは3つ（人口の視点・財政に関する視点・若者の政治参加についての視点）あっても共通のキーワードが多くありました。

1. 未来を担う人づくり

- ・未来を担う子どもたちが、多様な経験や教育を通じて可能性を拡げながら成長できる環境づくり（学校のスリム化・地域の特性や将来を見据えた独自教育・グローバル人材育成など）
- ・まちの活力源である若者世代が子育てしやすい・活躍できる環境づくり。～住み続けたいまちを目指して（人口減少対策・子育て支援・移住者への配慮・開かれた行政、議会 YOUTUBE 配信など）
- ・健康なまちづくり（老若男女問わず、医療や介護に頼らないまち、健康推進・スポーツ振興など）

2. 協働できる人づくり

- ・地域における諸問題の解決やまちの魅力創造のため、行政と町民がそれぞれの役割を踏まえながら共に考える環境づくり（まちづくり協議会のような会議体の設立・開かれた行政、議会 YOUTUBE 配信など）

3. まちの歴史や風土を活かす

- ・このまちの歴史や文化、そして産物や自然環境といった特色を守りながら、遺すべきものを変えなければならないものを見極めながら未来へつなぐ取り組みを進める。（施設統合・コミュニティーセンター、環境問題への取り組み、行革など）

4. まちを豊かにする人づくり

- ・まちの観光や産物に付加価値をつける人材の育成・誘致（余市ブランドの確立 観光消費に向けての環境整備）
- ・IT（情報技術）を産業・雇用に活用できる体制整備（IT 企業誘致・在宅を含む新しい働き方推進・情報発信の多様化・グローバル化など）
- ・会社・従業員含め存在意義を見出せる働き甲斐のある環境づくり

様々な意見が出され結論は出ませんでした。キーワードとして「人づくり」という共通の方向性が見えたように考えられます。未来を担う子どもたち、また大人がこのまちを愛し住みたいまち、また外部からからも住みたいと思うようなまちづくりを切に願うところであります。

新たな総合計画策定及びそれに基づく行政の施策の実施にあたっては、協議会で出された意見を十分に踏まえていただき、本協議会での討議が未来の余市町にとって有意義になるよう期待込めて提言いたします。